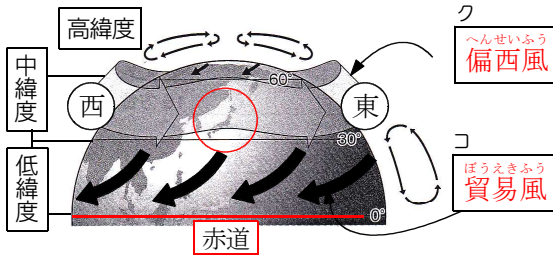


ア

**たいきけん
大気圏**

…地球をとりまく大気の層のこと。厚さは数百kmで、上空へいくほど空気の密度はイ小さくなり、ウ真空に近くなる。地表から15kmの高さでは、空気の密度は地表の約6分の1しかない。地球の半径は約6370kmなので、これに比べて大気圏の厚さは非常にうすい。大気圏の中でも、エ上昇気流などの対流は地上から高さ約11kmまでの層の中で起きる。雲ができるのはこのうすい層の中だけである。空気の温度は上空へいくほどキ低い。



カ

**へんせいふう
偏西風**

…日本が位置する中緯度地帯の上空でケ西から東へ向かう大きな大気の流れ。このため日本の天気は西から東へ変わる。

ク

**ぼうえきふう
貿易風**

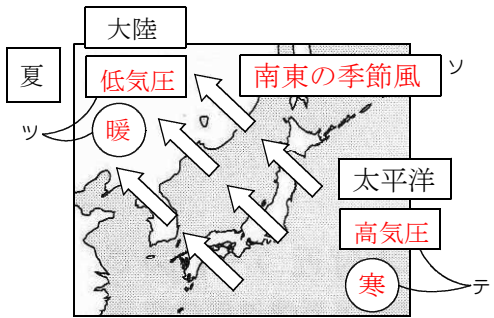
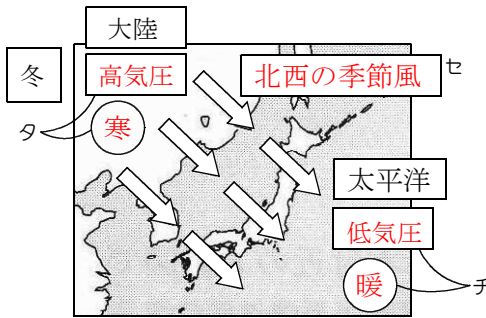
…低緯度地域の地表付近では、東から西に向かう風。

季節風

…ある地域で季節ごとに決まってふく風のこと。原因は、大陸と海洋のもつ性質のちがいである。

シ

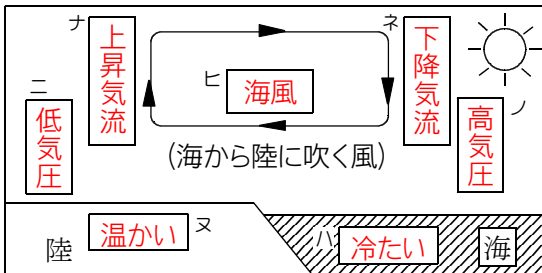
- 日本の 冬の**季節風** 大陸から太平洋へ向かってふく冷たい北西の季節風。
- 夏の**季節風** 太平洋から大陸へ向かってふく暖かい南東の季節風。



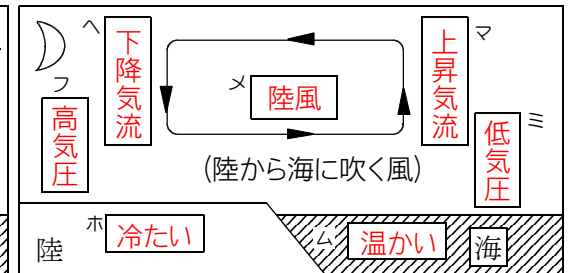
海に面した地域

大陸は海洋に比べて暖まりやすく冷めやすい。このため風が生じる。

昼



夜



上空ではどの季節でも偏西風がふいているが、地表付近では、季節風や低気圧や高気圧による風が吹いている。